オランダ改革派教会（読み）オランダかいかくはきょうかい

ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典の解説

オランダ改革派教会
オランダかいかくはきょうかい
Dutch Reformed Church

宗教改革にさかのぼる**オランダ最大のプロテスタント教会**。初めルター派の影響下にあったが，**カルバン主義**が急速に主流となり，**当時のカトリック・スペインの支配からの**独立運動が宗教解放闘争と重なり，**独立とともに改革派教会が国教**となった。 1571 年最初の教会会議を開催し，長老派の教会組織を採用，ベルギー信条，ハイデルベルク信仰問答を基本教義として受容。 17 世紀には救済予定説をめぐってゴマルス派とアルミニウス派に分裂したが，1618～19 年のドルト会議で後者が断罪され，厳格カルバン主義が 2 世紀間支配的となった。 1798 年**非国教化**され，1816 年**ウィレム 1 世**によって改編され，「オランダ改革派教会」と改名された。

「コトバンク」より